



後期の私 ～知見を広める～

▼動の後期

○Red Point 一つもとってないといいなあ…
ハッピーハロウィン! ハッピークリスマス
＼(^o^)/勉強しているといいなあ… ベースのストラップができるようになりたい! エンジョイ♡♡♡♡♡♡♡♡

▼YK

○前期中間の順位に戻す。

▼ウッキー

○模試で学年80位以内に入る(自分)、そして健康に生きる(自分)。

▼S

○美術館、コンサート、劇を見に行き知見を広める。英検準1級取得を目指して勉強する。

*

ということで、一体どういう後期になるのか、楽しみ(恐怖?)である。

最近「数値目標」ということがよく言われていて、我々教員も具体的にそれを設定することがあるが、ここでも数値目標を書いた人が結構いる。ただ、私の印象を言うと、何となく「控えめな数字」のように思えるのだが、実現可能性を重視したのだろうか、それともこれが「妥当なところ」といった数字なのだろうか(笑)。

その他、目についたキーワードは、「サクシード」「予習・復習」「部活」といったところだろうか。それぞれ、ここに書いた姿になっていることを期待したい。

*

では、いったい私の方とはというと、これはもう「授業を徹底的に進める」ということに尽きる。今年は1年生4クラスと3年生2ク

ラス(文系の必修選択)を持っているが、3年生に関しては、もう全力疾走開始といった感じで、星陵祭が終わった直後の授業の時には、すっかり雰囲気が変わっていたのはさすがであった。

1年生も、例えば古文にしろ、漢文にしろ、教材を見れば分かっており、いよいよ本格的な学習に着手するわけで、ここでどれだけ力を伸ばすことができるかが問われる時期になっている。こちらも授業に力を入れるから、どうかそれに応える予習・復習を心がけて、授業を実りあるものにしながら、実力をどんどん伸ばして行ってほしいものである。

ちなみに、今日、そして20日(木)にもたくさんの先生方が13Rの授業を見学にいらっしゃる。いらっしゃるのは、「日比谷ではどんな授業をしているのか」「日比谷の生徒はどんな勉強をしているのか」といった興味をお持ちの都立高校の先生方ばかりである。是非日比谷生の実力を示して(←多少不安が残るなあ…笑)、都立高校全体の授業レベルがアップするキッカケとなるような、真摯な取り組み姿勢を見せてほしい。

*

「静の後期の中に楽しみを見出す」と書いている人がいた。こういう姿勢は大切にしたいね。受験が迫る3年生にとっては、楽しみを見出せる「後期」はもはやない。とすると、君たちの残された「後期」は、今年と来年しかないことになる。その意味では、この後期の中にどんな「楽しみ」を見つけ出せるのが、これからの学校生活を豊かにするキッカケともなるはずだ。しっかり過ごそう。